

議会だより

# えりも

平成27年 8月1日

No. 14



6月定例会の概要

2 P

議員研修視察報告

4 P

一般質問

5 P

所管事務調査

9 P

写真・様似町プールにて

※カラー写真は、えりも町  
HPにて、ご覧いただけます

# えりも町議会第2回定例会

6月23日に第2回定期例会が開催されました。定例会では条例の改正や予算の補正など、提出された議案を慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

議員提案として議会改革特別委員会が設置され、全議員による議会運営改革等の調査・研究を行う案が可決されました。また、一般質問では5人の議員が登壇し町政に関する諸課題について質問しました。

## 専決処分

- ・診療所備品購入  
…200万円
- 電話機の交換機故障による補修と笛舞小学校グラウンドの走り幅跳び用砂場の補修。  
…えりも町本町224

## 補正予算

- 企画振興費  
…651万9000円

- 中学校教育振興費  
…721万4000円

- 人権擁護委員の推薦

えりも町本町224  
山科幸一氏(76)

②笛舞・東洋・庶野の各小学校の鉄棒を新設。

## 人事

①昨年度取得済のえりも駅前の用地未舗装部分を駐車場として整備。

②部活動のユニホームの更新費用助成。

## 総合整備計画

- 常設保育所運営費  
…94万円
- 高等学校管理費  
…1212万9000円
- 辺地にかかる公共的施設の総合整備計画の策定

幌泉郡えりも町字庶野  
字の名称

- 授業で使用しているパソコンの入れ替え。

- 以上ふるさと納税寄付金を財源とする。

### 整備期間

平成27年度から平成31年  
までの5年間

### 整備事業費

6175万3000円

公共的施設（庶野地区）の整備を必要とする内容

- 観光PR用小型無人ヘリコプター（ドローン）購入。  
…241万2000円

中央保育所における1歳児クラス、子育て支援センターの冷暖房対策としてのエアコン設置。

- 観光費  
…30万円

- 造林事業費  
…695万8000円

町有林の間伐事業。

- 塵芥処理費  
…172万8000円

観光PR用小型無人ヘリコプター（ドローン）購入。

- 小学校施設管理費  
…241万2000円

清掃センターガス冷却塔の補修。  
…えりも町本町224

①林道（森林基幹道）

この林道は、庶野地区と日黒地区を結ぶ連結道路と

して地域住民に利用されているものですが、路面状況の悪化により交通に支障をきたしているため、林道の整備が必要になってきていた。

議会だより NO14

する。車体やポンプの性能が低下していることから、更新整備が必要となっていました。

## ②消防施設

・庶野分団に配置されるい消防団車両は、経年劣化により車体やポンプの性能が低下していることから、更新整備が必要となっていました。

## 条例改正

### 国民健康保険の条例改正

#### ①改正理由

・国民健康保険法を改正する政令が、平成27年4月1日から施行され、国民健康保険の被保険者間の保険税負担の公平と中低所得層の負担軽減を図るため。

#### ②課税限度額の改正

#### 医療給付費分

16万円→17万円

5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得を引き上げる。

#### ③保険税軽減範囲の改正

議員研修会が7月7日に全道各町村から多くの議員が出席され、札幌コンベンションセンターを開催されました。

## 議員研修を終えて

川村一治 副議長

ほうがよいという持論を話されました。  
両先生共に共感できる部分があり大変勉強になりました。

翌8日は予定されていた自主研修でむかわ町の「四季の館」を視察し、役場内でむかわ町長、議長の挨拶があり、当町からは、成田議長の挨拶の後、むかわ町役場担当者から「四季の館・道の駅・ホテル四季の風」の経緯と運営状況について説明を受け、質疑応答の後「四季の館」に移動、外観もさることながら館内の施設の充実ぶりに目を見張るものがありました。

施設の中には、四季の湯・大ホール・レストラン・図書館・温水プール・トレーニング施設・宿泊施設など様々な施設があります。えりも町でも複合施設の建設が議論されていますが、このような施設がありませんでした。えりも町はいろいろな角度から慎重に検討することが大切なことであると再認識した次第です。



最初に「地方議会を取り巻く最近の動向」と題し、中央大学名誉教授の今村都南雄氏が講演され、「自治体はどうまで変わったか」「地方議会制度改正の概要と教訓」「まち・ひと・しごと」と三つのテーマに分け、それぞれについて話されました。気が付いたところから、そしてできることから始めること、また、住民が進める地方創生を特に強調されました。また、法改正に頼らない議会改革についても触れられておりました。

続いてテレビ朝日コメンテーターの川村晃司氏が『これから政局・政治動向』と題し、現時点で女性議員が全体の約10%であり今まで以上に女性議員の比率を上げた。

①特例控除額の上限を個所得者等の場合、寄付先が5団体までであれば、確定申告が不要。（但し、寄付先に申請書の提出が必要）

特定空家を住宅用地特例の対象から除外

危険な空家として撤去の勧告を受けた場合、固定資産税の住宅用地特例（家屋があれば、更地にするより土地の固定資産税を最大6分の1に優遇する措置）の対象から除外する。

16万円→17万円

51万円→52万円

後期高齢者支援金分

14万円→16万円

# 自主研修視察報告

## 7/8 むかわ町「四季の館」他 多機能型複合施設を視察

**四季の館建設経緯**  
平成5年、旧鶴川町では過疎化・高齢化が急速に進展していることから、高齢化だけでなく町民が生涯を通して、心と体の健康を基本に、精神的な豊かさやゆとりある生活を送ることができるように環境づくりの為に始まった。



中会議室は会議や、中・小イベントの他、乳幼児の健康診断にも使用するため、手洗い場・トイレが室内に完備されている。

### 四季の館沿革

平成5年……健やかな地域社会づくりプロジェクト発足。  
平成9年……四季の館オープン。  
平成14年…「道の駅」最終候補地として決定。  
平成15年…道内80番目の「道の駅」として共用開始。  
平成17年…「道の駅」の効果による観光客の増加に伴い、ホテル「四季の風」を建設。

- ・交流ゾーン 四季の湯、いこいの広場、レストラン、喫茶、ギャラリー、地場産品販売コーナー
- ・文化活動ゾーン たんぽぽホール（大ホール500名収容・他会議室等）創作室、和室  
まなびらんど図書室
- ・保健福祉ゾーン はつらつセンター、デイサービスたんぽぽ、研修室、調理実習室
- ・スポーツ レクゾーン 温水プール（通年使用可）※サウナ・子供用プール、トレーニングルーム
- ・ホテル四季の風 朝食、夕食付 最大収容人数40名

子供たちのプール教室の他高齢者の介護予防としても使用されている、水着を着用したままサウナを使用できる。



小児用プールが併設されており、インストラクターによるプール教室も行われている。通年を通してプールを使用できる。



使用料大人520円、小学生210円で誰でも温泉施設、プール・トレーニングセンターを使用することができる。高齢者から幼児まで、楽しみ、汗をかいているのが印象的でした。



# 一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な关心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

## 問

大坂議員

自衛隊内の温水  
プールの利用は



大坂庄吉議員

## 答

教育長



様似町のプールでの水泳授業の様子

老朽化により廃止となつてある施設については、自衛隊プールを使用したいとのことで交渉に入っていると聞くが、状況はどのようになつてているか。

①学校の水泳教室での使用はいつ頃になるのか。  
②使用時間、休日については。  
③監視員はどのようになつているのか?  
④一般使用者への周知はどうなつか?

自衛隊プールは水深120cmで、すり鉢形であり安全対策については、厳しい状況になり使用を辞退した。このような状況の中、様似小学校プールで水泳授業の運びとなつた。  
①7月6日～9月10日まで16日間を5校で割り振り、児童が2回は参加できる。  
②12時15分から15時、休日については、児童生徒に利用希望を募り、浦河町民プールへスクールバス送迎を計画。

③各校教諭、当町体育振興係を2名配置。  
④今年度については難しい。

大型の扇風機一機を収骨室に設置し、収骨時の熱気対策に努めているところであります。斎場の年間稼働日数は、ここ数年、70日前後で推移しており、年間の稼働率は20%であり7月、8月は約2%の状況が続いている。このような状況を踏まえ費用対効果の観点からも冷房施設の設置は困難であると考える。

今ある設備を活用し、少しでも快適な空間を提供できる。

パークトイレ「スマイル」はすでに25年以上経っています。そのため、老朽化が進み、近年では電気系統や水回りを中心に不具合が出ており、必要最低限の修繕等を重ねているのが現状で、平成25年度には、外壁のガラスブロックを改修していく。  
それで、財政状況等を考慮したうえで、計画的に改修を進めたいと考えている。

## 答

産業振興課長

があると考へるが見解を。

## 問

大坂議員

斎場内に冷房の設置を

## 問

大坂議員

改修をすべきでは

パークトイレ「スマイル」の

気温も上がる季節となり室内の温度が上がるのではない

快適な室内で収骨するにも、火葬炉、ホール、収骨室の冷房設備の設置を提案するが、見解を。

## 答

町民生活課長

よくな部分が多くみられる。トイレの改善を図る必要があると考へるが見解を。

大型の扇風機一機を収骨室に設置し、収骨時の熱気対策に努めているところであります。斎場の年間稼働日数は、ここ数年、70日前後で推移しており、年間の稼働率は20%であり7月、8月は約2%の状況が続いている。このように状況を踏まえ費用対効果の観点からも冷房施設の設置は困難であると考える。

今ある設備を活用し、少しでも快適な空間を提供できる。

それで、財政状況等を考慮したうえで、計画的に改修を進めたいと考えている。



ひび割れや故障など劣化の目立つパークトイレ「スマイル」

**答**  
保健福祉課長  
小規模特別養護老人ホームについて

平成23年5月16日の小規模特別養護老人ホーム建設の請願書は、9月16日付けて議長から趣旨採択したと通知がありました。町はいつ老人ホームを建設しようとされているのか。

**問**  
鈴木議員  
**小規模特別養護老人ホームについて**

平成23年5月16日の小規模特別養護老人ホーム建設の請願書は、9月16日付けて議長から趣旨採択したと通知がありました。町はいつ老人ホームを建設しようとされているのか。

鈴木議員



鈴木勇高議員

て、その審査結果が報告されているものである。  
まず、特別養護老人ホームを新たに建設するにあたっては、介護される方のプライバシーの保護や、状況にあわせたケアなどの観点から、個室いわゆるユニット型が現在では主流になっており、基本的にはこのユニット型でなければ補助採択は厳しい現状にあり、4人部屋などの多床室よりも建設価格が高額になることから、建設費全体も大きく膨らむことが推察できる。  
また介護職員はもとより、建設費自体が介護保険料の算定に直接結びつくことはないが、入所される方が増えれば、介護保険料の増額にも繋がることから、町民の方の負担が増加することも課題として挙げられる。

**答**  
国立公園の指定  
推進を  
鈴木議員

小規模特別養護老人ホームは、老人福祉法に規定している特別養護老人ホームは、老人福祉法に規定している特別養護老人ホームの形態の一つで、介護保険法でいう地域密着型介護老人福祉施設であり、入所定員が29人以下のものである。この施設の創設について、請願書が議会に提出され、平成23年9月定例会において、

**問**  
国立公園の指定  
推進を  
鈴木議員

このようなことに加え、4年前と比較して財政的に好転した状況とはなっていないことから、小規模特別養護老人ホームを建設するか否かも含め、現時点での明確な時期を示すことは難しいと考えているが、介護が

連盟だよりに掲載して襟裳  
は平成18年3月、道自然連合、道勤労者山岳連盟等11団体が日高山脈夕張山地として要望している。私は19年5月、北海道市町村職員

町内の動きとしては、今年5月に開催したえりも観光協会の総会において日高山脈襟裳国定公園化に向けた活動を行うとした。

決議され、6月6日に開催した自民党移動政調会においても観光協会から、現国定公園を国定公園となるよう後押しして欲しいと要望が出された。

また、6月1日付で日高

必要な状態にならないようになり、今後においても、健康寿命を延ばすため、筋肉や関節の強化を図るために運動などを取り入れた介護運動事業を推進していく。

**答**  
産業振興課長

の名称は残すよう普及してきただが、町の考えは。



振興局に着任した辺見振興局長の6月15日の会見では、新聞報道によると国内外から観光客を呼び込むため、国立公園への昇格を検討したいとの考え方を示している。

えりも町としても国立公園化のメリットデメリットについて検討するとともに、その上で地元町民の理解と協力を得たうえで関係関連機関と連携していくきたい。

0頭以上生息していると思われるので、補償制度を早期に創設するよう陳情する考えはないか。

## 答

産業振興課長

去年7月「日高総合開発期成会」や「日高町村会」

の一員として「ゼニガタアザラシの絶滅危惧種早期解除に関する緊急要望書」と

共に被害を受ける漁業者に対して損害賠償や、何らかの救済措置をするよう直接環境省に出向き要望している。本年度も日高総合開発会として、ゼニガタアザラシなど海獣被害対策の推進に必要な予算の確保と補償制度の創設を引き続き要望していく。



問  
ゼニガタアザラシ  
漁業被害の補償を

鈴木議員

ゼニガタアザラシによる漁業被害は、新聞報道でも、道庁の陳情でも現在100

現在当町は、「地方版総合戦略」の策定を行っているがその進捗状況は、また基本目標の一つである「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

ために、出産や子育てに対する支援は行っているが、結婚に対する支援が遅れている。婚活イベントの定期開催も必要だが、結婚を希望するかたの実情に応じたきめ細やかな支援として結婚成立に向けて相談や仲介をする結婚支援員を募集・養成する考えはないか。

## 「地方版総合戦略」の基本目標

①	地方における安定した雇用を創出する。
②	地方への新しい人の流れを作る。
③	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える。
④	時代に合った地域を作り、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。



高松亮裕議員

## 問

結婚支援員の募集・養成を

高松議員

方創生の重要な課題だと考る。道においても、各振興局ごとに結婚支援協議会を設置するとのことなので、当町としても連携して審議会の中でも議論していきたい。

## 答

企画課長

7月初めに、審議会委員の構成を固め、その後に第1回の会議を開催する。



石川昭彦議員

## 問

町職員の新任研修は？

石川議員

新採用の職員への研修について、その期間と内容はどうなものか。社会人としての礼儀や言葉づかいなどがしっかりと身につくような研修を町村会などですべきではないか。

## 答

総務課長

採用後、職場内で1日、半年後に2泊3日で町村会の研修が開催されている。町としても人材育成は、最重要課題の一つだと認識しており、地域住民の奉仕者として使命感と情熱を持ち、町民と同じ目線で共に学び、と共に話し合い、共に理解し

てもらえるよう、研修機会の拡充と、職員の資質向上を図っていきたいと考えている。

## 大新東への委託業務の見直しを

問 石川議員

①現在の大新東への委託料は全体でいくらになっているか。

②経済的な効果についてどのように考えているか。

③大新東で働く人達の待遇は、悪化しているのではないか。

④この際、業務委託を見直すべきではないのか。

総務課長

①平成27年度の委託料は総額で2億3699万円ほどになると見込んでいる。

②町が直営でやっていた時と正確に比較することは難しいと考えるが、概ね年間1000万円程度が節減効果になるとと思われる。更に各課の人員管理など負担軽

減も大きいと考えている。

③待遇については、業務によつて、時期的に休みが取

りづらいなど、勤務時間オーバーしてしまう事もあると聞いているが、勤務条件が同じ状況で賃金が下がるようなことはないと聞いている。

搬入はできないか。

②今後、どのような見通しを持つているか。

## 休日のごみ直接搬入の受け入れを

問 上野議員

④民間委託を始めて11年が経過し、本年度新たに3年間の契約を締結したところで進めていきたいと考えている。

現、燃やせるごみを直接搬入できるのは平日のみである。町民から土・日・祝日の清掃センターへの直接搬入に対応して欲しいとの声がある。

①町では清掃センターへ受け入れる曜日等については、土日のいずれかで受け入れ時間を限定したものになるであろうと考える。



上野勝廣議員

## 町民生活課長

答 先般、開催された自治会長会議においても説明したことであるが、実施に向けて、前向きに検討している。

今後清掃センターへの燃やせるごみの直接搬入を土日等に行うとした場合、その受入れ業務についても大新東に委託することを基本としたいと考えている。

受け入れる曜日等については、土日のいずれかで受け入れ時間を限定したものになるであろうと考える。



受入れ業務にかかる委託費等の新たな予算が発生するので、委託先や財政当局と協議の上、前向きな検討を進めていく。

## 議会の動き

5月28日	日高監査委員協力会定期総会
5月29日	二常任委員会合同所管事務調査
6月3日	森林づくり体験事業植樹祭
	日高東部衛生組合議会
	消防組合議会
6月8日	定例出納検査
6月16日	議会運営委員会
6月23日	全員協議会 第2回定例会
6月27日	日高東部3町議会 議員理事者親睦スポーツ大会
7月4~5日	札幌えりも会
7月6日	日高東部消防組合 臨時会
7月7~8日	全道議員研修会
7月9日	定例出納検査
7月16日	軽種馬産業活性化 推進議員連盟総会
7月17日	議会広報特別委員会
7月18日	日高地区情報化 推進議員ネット ワーク役員会
7月24日	議会広報特別委員会
8月3日	日高地区情報化 推進議員ネット ワーク役員会

# 二常任委員会

## 所管事務調査

<b>総務文教常任委員会</b>	<b>委員長 渡部泰</b>
副委員長 笹谷廣喜	委員 川村一治
鈴木勇高	近藤一郎
<b>産業民生常任委員会</b>	<b>委員長 大坂庄吉</b>
副委員長 平野正男	委員 上野勝廣
石川昭彦	高松亮裕
	<b>議長 成田一人</b>

### ①えりも岬小学校外壁等改修工事について

えりも岬小学校は、昭和63年に竣工し27年が経過しており、沿岸地域特有の塩害により、外壁や建具など非構造部材に著しい腐食・ひび割れ等が発生しており、当町が想定している最大震度6強の大地震発生時において、現状のままでは外壁や建具類の剥落が十分予想され危険であることから、学校施設環境改善交付金を活用し改修を行うとの説明があった。本事業の改修について、多くの部分で補助対象から外れることとなった場合には、当町にとって過大な負担となる恐れがある。

国の動向を注視しながら他町村の情報収集に努めるとともに、補助制度を的確に把握し積極的な財源の確保について最大限の努力をしていただきたい。なお、工事に当たっては、子供たちの安全に配慮しながら事故の無いよう十分に注意を願いたい。



### ②ふるさと納税について

昨年12月にリニューアルした、ふるさと納税であるが、主な改正点としてインターネットでの申し込みに対応したこと、クレジットカードの収納に対応させたこと、1万円以上の寄付者に対してお礼の品（町の特産品）を提供するという3点があげられた。

リニューアル後の（H26.4.1～H27.3.31）の寄付件数は、1万1248件、金額は2億3094万5202円という目覚ましい結果にあり、リニューアルの効果は大きい。

これから課題として、特産品だけでなく、町に足を運んでくれるような体験型・滞在型のメニューの企画や、更なるメニューの充実についても検討を願う事を要請した。

### ③ 第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画について

高齢者福祉計画・介護保険事業計画は、3年ごとに見直しが行われているもので、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできるまちづくりを推進するための基本的な目標を示し、平成27年度から平成29年度までの3か年と平成32年度及び平成37年度のサービス量を推計して、中長期的な視点によるサービス提供体制の確保に向けて町が取り組む施策を策定したものである。

当町における高齢化率は、平成26年1月1日時点で道内179市町村中150位と平均より低い現状であるが、今後も人口減少と高齢者数の増加が続くものと見込まれており、超高齢化社会で増加する老人世帯や老老介護など居宅介護では支えきれない状況が想定されることから、困った時に一時的に要介護者を預けることができる柔軟な仕組みについて考えていくことを望むものである。

また、目まぐるしく変化する国の介護制度の改正に的確に対応するとともに、第6期計画の基本方針等を踏まえ、高齢者が安心して暮らすことのできる生活環境の実現に向けた施策の展開について、積極的・計画的に取り組むことを強く期待する。

# この人に聞く

祭本舗 風舞 会長

岩間 典明



：平成14年のしゃくなげオーナー

プラン事業からスタートし、

灯台祭りや海と山の幸フェスティバル、「えりもの春には何かある」での出店や

ライブなど、町内の子供たちや若者そして主催者も楽しめますが設立のきっかけは？

：風舞のこれからの中標や目指すものは？

前身は、近浦の青年部から始まりました。年齢を重ねていくうちに同年代との交流が少なくなり同じ職種（漁師）の人としか接点がないなってきて、職種に関係なくみんなで楽しめる空間や時間を作りたいと思い、相談し、いろいろ人のバッタアップを受けて地域団体としての設立をしました。

昭和44年9月18日生  
えりも町（笛舞在住）

職業 漁師  
趣味 ギター

好きな食べ物は？  
寿司・焼肉

ラーメン

今回の「この人に聞く!!」は灯台祭りや「えりもの春には何かある」でお馴染みの、お祭り団体「風舞」の岩間典明会長にインタビューしてきました。昆布最中の忙しい中、いつも通りの笑顔で迎えてくれました。

：若い世代の人たちへ一言。



「えりもの春には何かある」にて

り」を思い出し、自分自身がとても楽しかったという記憶の中で、このようなイベントを今の子供たちにも体験させてあげたいという思いが原点だと思います。

と年上の人たちは言うかも知れないけれど、その時その時で時代は変わつて来ているし、人との輪を大切にしながら目標を持つてマイペースで、自分なりのやり方で地道にやれば道は必ず開けてくると思います。

そしてこれから灯台祭りも始まるので風舞の運営に参加して欲しいですね。興味のある人は気軽に風舞の会員に声をかけてください。

今年、このイベントを楽しんでいる子供や若者が将来えりも町に残つてこのような活動を引き継いでいける環境づくりです。自分もうやつて引き継いでいくものだと教わりました。

そしてイベント等で得た収益を町の社会福祉に還元できる仕組み作りをもっともっと大きくしていきたい。

昨年は収益の一部をえりも町の幼稚園や保育所のクリスマスプレゼントや福祉施設へ車椅子寄贈を行った。

寒い日が続き、夏はまだかと思っていると、今度は台風が同時に3個発生するなど例年と違う気象状況に頭を悩ませるこの昆布時期ですが、十分な水分補給など体調管理には気を付けて昆布漁を頑張ってほしいと思います。

さて、今回の改選により新メンバーでスタートした議会広報特別委員会ですが、今までの議会だよりを引きながら、より一層町民の方々と議会を繋げ、議会に興味を持っていただける誌面作りをモットーに委員全員で努力いたしますのでよろしくお願いします。

（近藤）

議会広報特別委員会委員

委員長 高松 亮裕  
副委員長 近藤 一郎  
委員 川村 一治  
大坂 昭彦  
石川 庄吉

編集後記